

令和6年5月28日
烏山総合支所
危機管理部

オウム真理教問題対策（状況）について

1 現地の状況

信者の居住状況について、関係機関からの情報では、GSハイム烏山（南烏山6-30-19）に「ひかりの輪」信者5名程度が居住している模様である。

2 烏山地域オウム真理教対策住民協議会の活動状況

（1）会議の開催状況

- ① 令和6年度総会 令和6年4月25日（木） 午後6時30分～
- ② 第184回実行委員会 令和6年4月25日（木） 午後7時～

（2）第48回 抗議デモ・学習会の開催

日 時 令和6年5月11日（土）午後1時30分～4時
場 所 抗議デモ：烏山区民センター前広場～GSハイム烏山前～烏山
 区民センター前広場
 学 習 会：烏山区民会館ホール
講 師 公安調査庁職員
演 題 「再発防止処分の有効性」
参加者数 277名

3 オウム真理教対策関係市区町連絡会総会（予定）

日 時 令和6年6月26日（水）午後2時～
開催形式 WEB会議
出席者 区職員3名が出席予定

オウム真理教対策 第48回 抗議デモ・学習会

5月11日(土)

◆抗議デモ 午後1:30 集合

烏山区民センター前広場

◆学習会 午後2:30 開会

手話通訳あり

烏山区民センターホール

入場無料

烏山地域
オウム真理教対策
住民協議会

◎講演「再発防止処分の有効性」

公安調査庁から講師をお招き
してご講演いただきます。



オウム真理教
立入検査

▲ 公安調査庁 YouTube 動画

【本編】公安調査庁広報動画「情報の力で国民を守る」
から引用

公安調査庁・オウム真理教問題に関する啓発ポスター
「あのテロ事件を忘れない」



あのテロ事件を忘れない
～地下鉄サリン事件から四半世紀～



オウム真理教は現在進行形の問題です

PSIA 公安調査庁

主催：烏山地域オウム真理教対策住民協議会

後援：世田谷区

オウム観察処分を更新

公安審査委員会は、令和6年1月12日、オウム真理教に対する団体規制法に基づく観察処分について、1月末で切れる処分期限を3年間延長することを決めました。これによりアレフ、ひかりの輪、山田らの集団への観察処分は、2月1日より8回目の更新となりました。

決定理由は、無差別大量殺人行為に及ぶ危険な要素を保持していることが認められる、地域住民に恐怖感や不安感を抱かせるなど、観察処分により活動状況を継続して明らかにする必要がありますが認められるとしています。

今回の観察処分更新に向けて、我々住民協議会とオウム真理教対策関係市区町連絡会は昨年10月13日、法務省を訪れ、法務大臣、公安調査庁長官、公安審査委員会事務局長に面会し、集めた署名と要請書を提出しました。

小泉法務大臣には、観察処分更新は当然であることを主張し、麻原の遺骨問題での裁判に法務省があえて闘っている事への感謝と、アレフに対する再発防止処分の実効性が薄いことを指摘し、更に有効な処分をお願いしました。

地域住民の思い、不安感、恐怖感があることを示すためにも、署名は必要なもので、コロナ禍以来、前回の要請時から署名方法を変えて、世田谷区の町会・自治会・関係団体の代表者と世田谷区議会議員の皆様から署名をいただきました。ご協力をいただきました皆様に心から御礼申し上げます。

また、アレフに対する再発防止処分ですが、こちらは6か月ごとに再請求をすることになり、改善が見られないという事で3回目の再発防止処分の請求を公安調査庁長官が公安審査委員会に出しています。

リーフレットを大学新生へ配付

住民協議会と世田谷区で共同作成した、オウム真理教からの勧誘への注意喚起のためのリーフレットについて、昨年度、世田谷区内の大学の意向を確認して8校（10キャンパス）の大学新生向けに配付しました。

今年度、改めて区内大学へ意向を確認したところ、12校（14キャンパス）から配付協力の賛同を得ました。印刷物だけでなく、データとしての提供もしています。旧統一教会等の報道が昨年も数多くあり、カルト問題に関して大学に危機感があるのかもしれません。

新生に、オウム真理教が起こした事件の経過やカルト教団の勧誘の手口、欺されやすい人の特徴などを伝えて、カルト教団に引き込まれないよう呼びかける内容となっております。

ホームページにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

あなたは大丈夫？
これらは欺されやすい人の特徴です。
誰でも被害者になり得ます！

- ☐ 街頭アンケートなど、なかなか断れない
- ☐ 服装や外見で人を判断してしまう方だ
- ☐ どんなに失敗しても次があると思う
- ☐ 古いやスピリチュアルが好き
- ☐ 世の中に悪い人は
- ☐ 誰ともしやべらな
- ☐ おだてに乗りやす
- ☐ 素直な真性から
- ☐ 困っている人を
- ☐ どんな相手から
- ☐ 「限定」や「割引
- ☐ 自信たっぷりに
- ☐ 自分の周りで
- ☐ 「自分は騙されな
- ☐ 好奇心が強く、
- ☐ マスコミで取り
- ☐ 欲しいものは多
- ☐ 初対面の相手でも
- ☐ 一人暮らしをして
- ☐ 冗談が通じない

オウム真理教事件関連年表

1984年2月	「オウム神仏の会」設立
1987年7月	「オウム真理教」に改称
1989年2月	信者殺人事件
11月	坂本弁護士一家殺人事件
1994年1月	信者殺人事件
5月	井土殺人未遂事件
6月	松本サリン事件
7月	信者殺人及び死体損壊事件
1994年12月	VX使用殺人未遂事件・VX使用殺人事件
1995年1月	VX使用殺人未遂事件
2月	公証役場事務局長監禁致死事件
3月	地下鉄サリン事件
5月	「ひかりの輪」の設立を表明
2000年2月	オウム真理教から「アレフ」に名称変更
12月	信者13人が世田谷区内12ヶ所の出張所へ入館を提出
2007年5月	「ひかりの輪」の設立を表明
2018年1月	オウム真理教による一連の事件に係る裁判が終結
7月	麻原を含む死刑確定者13名の刑が執行

オウム真理教が起こした凶悪事件を知っていますか？
オウム真理教は、麻原彰晃と松本智津夫が教祖・創始者として設立した宗教団体で、かつて、同人の指示のもと、宗教法を破れながら武装化を図り、**松本サリン事件、地下鉄サリン事件**等数々の凶悪事件を引き起こしました。
(＝詳細は事件関連年表をご覧ください)
1995年、教祖麻原は逮捕され、教団幹部12名とともに2018年、死刑が執行されました。
オウム真理教は、「**Aleph (アレフ)**」「**ひかりの輪**」「**山田らの集団**」に分裂しましたが、教団の本質は変わらず、その中の「**ひかりの輪**」は**世田谷区内**に本部を置いて活動しています。
そのため、世田谷区と地域住民（オウム真理教対策住民協議会）は、一体となって**平穏な生活を取り戻すための活動**を行っています。

名前を変えてもオウムはオウム！！
公安調査庁作成「オウム真理教問題に関する啓発動画」
オウム真理教が引き起こした松本サリン事件・地下鉄サリン事件や、現在のオウム真理教の活動状況などについて、分かりやすく説明されています。

リサイクルバザー終了のお知らせ

平成19年から始めたオウム対策住民協議会主催のリサイクルバザーは、コロナ禍のため中止とした令和2年まで13年という長い間続けて来ました。物品提供やバザー当日のボランティアなど地域の皆様のご支援のお陰と感謝しております。これまでの収益金は、本紙の発行など協議会の活動資金として、大切にに使わせていただきました。

コロナ禍での中止期間にも、物品提供の問い合わせや、再開はいつとのご連絡を多数いただきました。

残念なことではありますが、準備から当日までの膨大な作業

をこなすことが難しくなり、開催が危ぶまれる事となりました。

協議会として話し合いの結果、残念ですが長い間のご協力に感謝申し上げて、ここにリサイクルバザーの終了をお伝え致します。

まだまだオウム対策住民協議会の活動は続けていきます。地域の中、各所で行われるイベントでの募金のお願いも引き続き行ってまいりますので、変わらぬご支援をお願い申し上げます。

長い間のご支援、ご協力ありがとうございました。

協議会ホームページアドレス <https://www.karasuyama-kyogikai.jp>

この協議会ニュースは、皆様の募金により発行されています。

